

国立国会図書館 八橋調の流 3巻 208-493

ガラス使用





208  
特別  
493

五の七

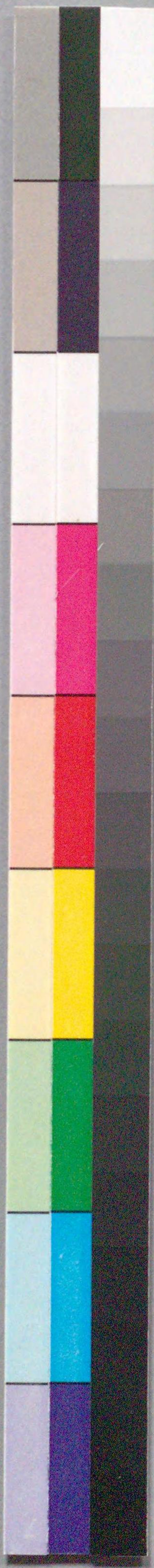


序  
 夫吾朝の糸曲ハ 琴 瑟 箏  
 他んばく今世ニ琴と瑟と箏と  
 しての世に收まらぬハ 箏ノ如く此強鼓耳とく  
 通和して五音九聲とのばりて其の  
 語如く其妙多し事此凡曲とて  
 多し一に天地とてんをばりて  
 眼ノ如く鬼神とてまじりて事  
 州其に五音にほりてはるべき  
 兒女の出精とのうけまじりて  
 の如くいとをばりて

戲作 南社笑  
 楚満人

ハオ

を







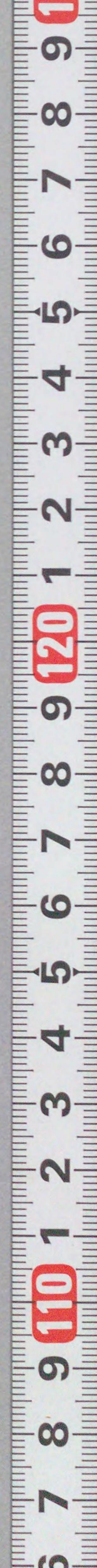
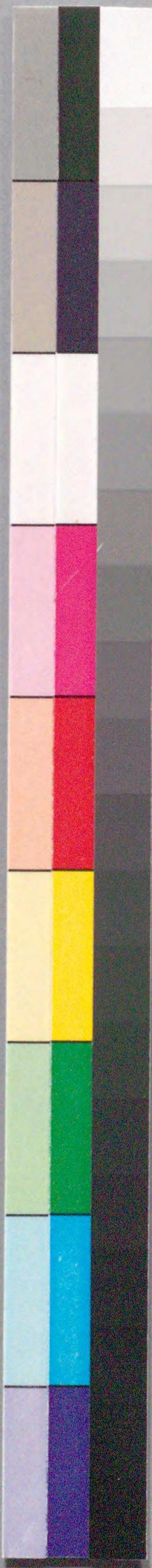












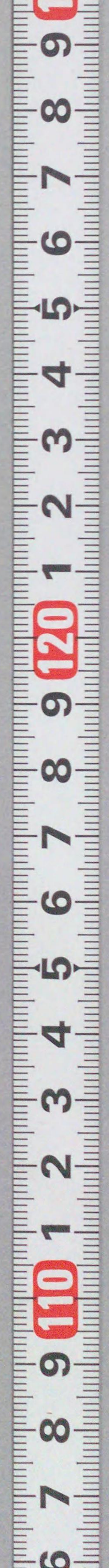








子老





十二調子  
 壹越。斷金。平調。  
 勝絶。下無。雙調。  
 邊鐘。黃鐘。鸞鏡。  
 盤赤。神仙。上無。

五音。宮。商。角。徵。羽。  
 調子と五音は相違なく思ふべきなり  
 十二の調子と五音の相違なき事

盤赤。正二經ハ 足大陸唇盤多ク  
 五角ハ 北子多ク  
 五行ハ 水多ク 形 〇多ク  
 身骨ハ 腰多ク  
 卦ハ 攻卦多ク 思ハ 變多ク  
 時侯ハ 冬多ク 色ハ 黒一  
 味ハ 鹹一 五音ハ 羽多ク  
 病ハ 黒多ク

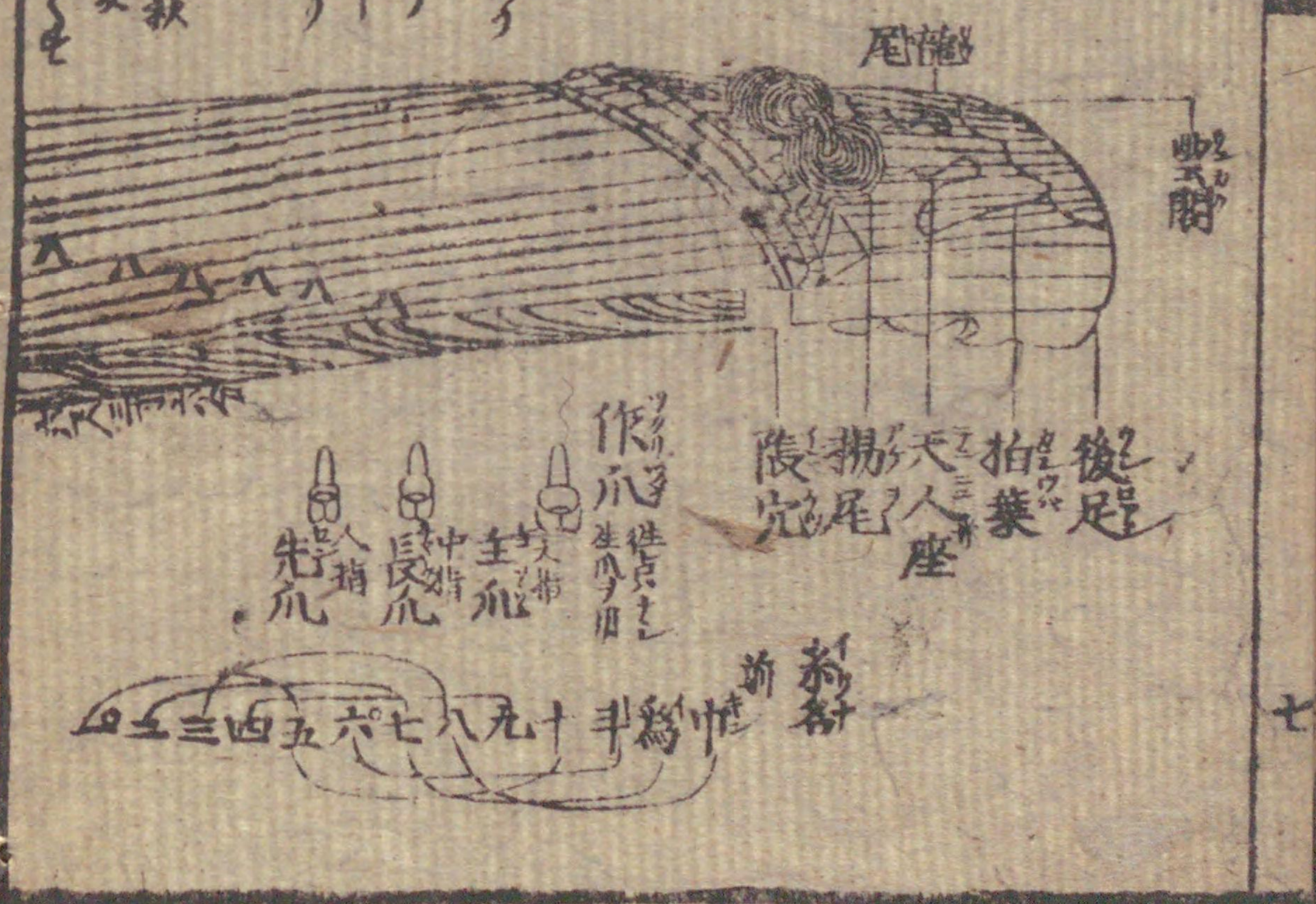
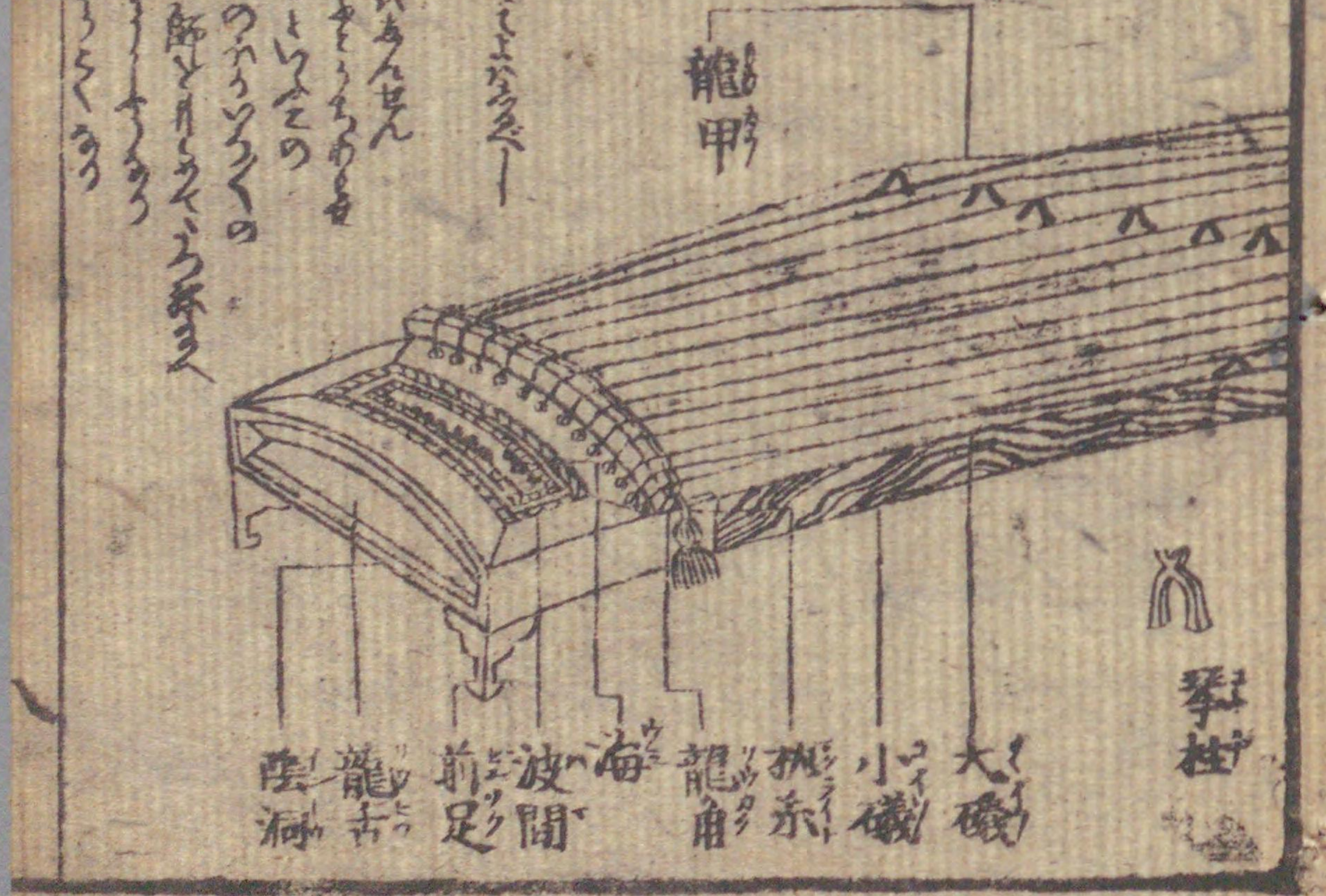
平調ヨリ正二調ヲ生ス黄鐘ヨリ正二越三ヨリ九  
 大調ヨリ正二調ヲ生ス平調ヨリ金多ク 音商調ハ秋  
 大調ハ多ク音ハ商調ハ春黄鐘ハ火多ク音徵調ハ夏  
 大調ハ多ク音ハ羽多ク音と五音の相違なき事

十二調子  
 壹越。斷金。平調。  
 勝絶。下無。雙調。  
 邊鐘。黃鐘。鸞鏡。  
 盤赤。神仙。上無。

五音。宮。商。角。徵。羽。  
 調子と五音は相違なく思ふべきなり  
 十二の調子と五音の相違なき事

盤赤。正二經ハ 足大陸唇盤多ク  
 五角ハ 北子多ク  
 五行ハ 水多ク 形 〇多ク  
 身骨ハ 腰多ク  
 卦ハ 攻卦多ク 思ハ 變多ク  
 時侯ハ 冬多ク 色ハ 黒一  
 味ハ 鹹一 五音ハ 羽多ク  
 病ハ 黒多ク

平調ヨリ正二調ヲ生ス黄鐘ヨリ正二越三ヨリ九  
 大調ヨリ正二調ヲ生ス平調ヨリ金多ク 音商調ハ秋  
 大調ハ多ク音ハ商調ハ春黄鐘ハ火多ク音徵調ハ夏  
 大調ハ多ク音ハ羽多ク音と五音の相違なき事



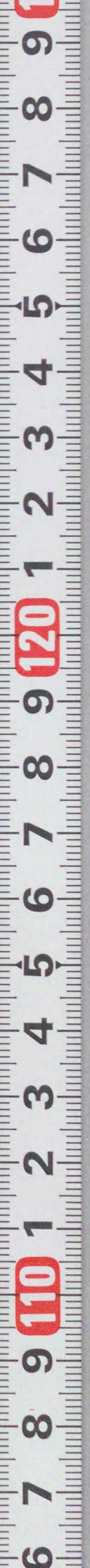
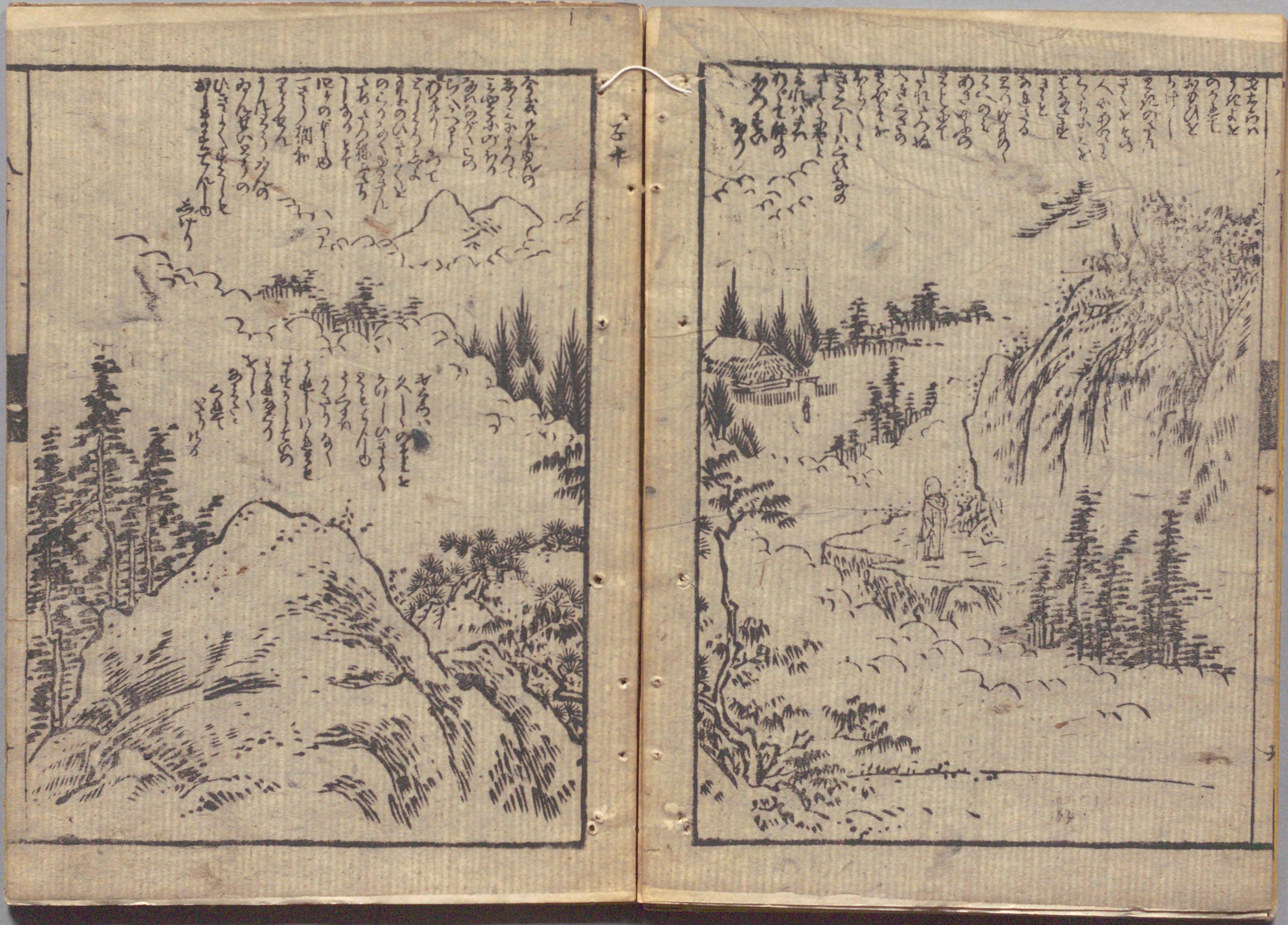
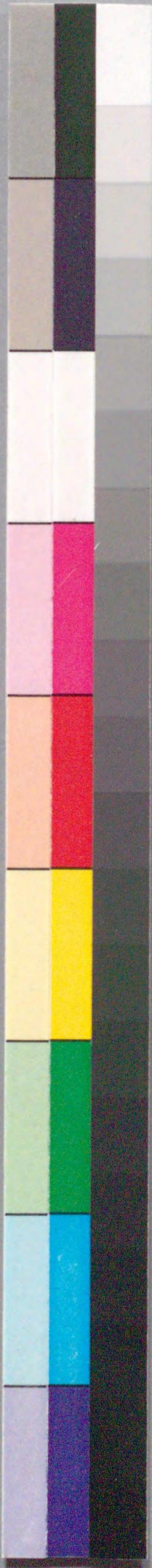




子丸









三



百十一



洗水











五十三







子十









八橋

法水東の門人永永と  
盲人あり 後八橋と改唱奇と

配當一々十二曲及び雲井

二曲と加へ十三曲とも則表

七組裏三組秘爪三曲あり

通和して諸人少くはむ

後年又筑紫小下り女茹ふ

傳ていづく此道の妙手と

得たり中奥の祖と云ふあり

八橋之像

八橋



貞享二年京都にて卒せり  
年七十余也

南抄

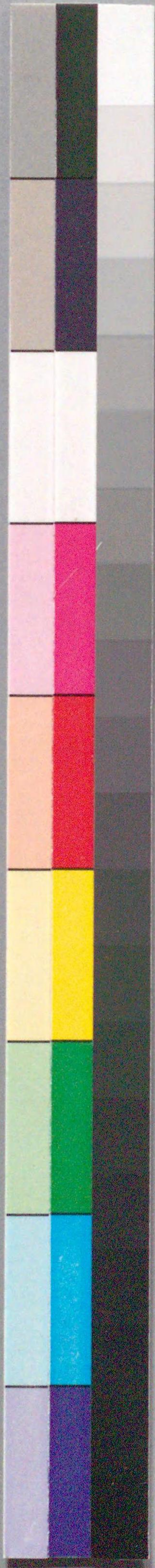
世満ひと戯作



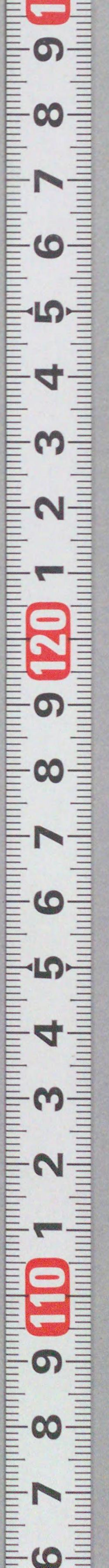
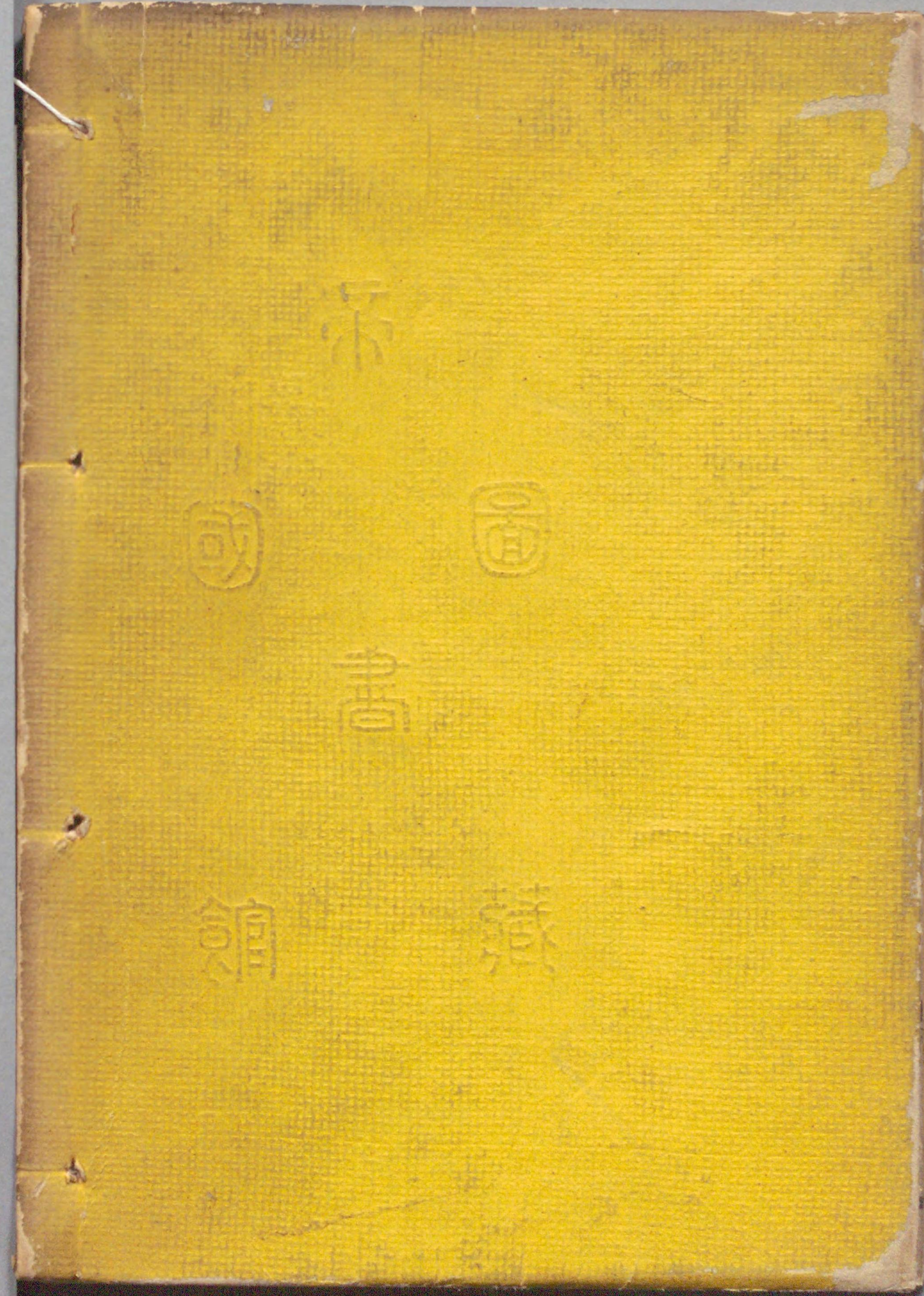
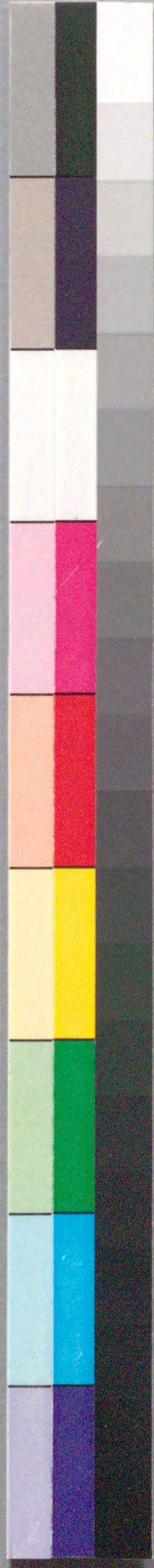


208  
493

八  
右  
一







国立国会図書館 八橋調の流 3巻 208-493

ガラス使用